





に詠んだものとしてよく知られている歌で、「時」を明智氏の本姓の「土岐」にかけて「今こそ土岐の人間である私が天下を治めるときである」との決意が込められていると解釈されているものです。

歴史の流れのなかで後世語られる大きな転換期には、そこに至るまでの様々な経緯があり、それを踏まえての決断が必ず存在しています。

ところで新世紀を迎えようとしている今、土岐市も大きな課題に直面しています。

それは、長年語られて来ながら、頭だけに終わっていた合併問題です。

しかしここへきて国や県も強力な合併促進策を次々と打ち出してきており、好むと好まざるに関わらず、真剣な議論を始めるなければならない状況となってきたのです。

幸い土岐、多治見、瑞浪、笠原の三市一町は共通項も多く、以前から産業界など市民レベルでは合併問題を話題にしてきた経緯があり、誰もが合併については一定の考えを持っているだけに、議論への一歩を踏み出すことについては各市町ともそんなに時間はかからないうでしょう。

ある調査によれば、合併に明確に「反対」とするものは約8%と低い数字ではあるが、合併消極派が40%あり、合併の必要性はないと考えるものが半数近くある、と報告されています。

しかし自分の町だけへの愛着でこのままでいくのも選択肢のひとつでしょうが、その場合、進行する財政悪化や少子高齢化で住民の負担が今後益々多くなることが予測されそれを覚悟しなければならぬとすれば、その打開策としての「合併」についてひとりひとりが考えて発言していくことが必要です。

そして自分たちの町の将来を自分たちで決めて行くそして自分たちで責任を持つのです。

合併問題で町の力が試されている。今はその町のひとりひとりの決断が、歴史の大きな転換を計るのです。

さあ、時は今！

その昔、ひとり決断した光秀。

新世紀の土岐市は、市民が決断するのです。

地でも事業が進行中です。又、今後の公共事業計画の中で、中心市街地活性化基本計画関連として、県道新土岐津線12m計画より変更して16m拡幅計画及び駅西踏切(市道)拡幅(都市計画)・商工会館(市有物)及び隣地市有地一体の開発計画・駅前再開発計画・泉小学校改築計画・等事業計画が予定されています。開発許可・都市計画決定等の場合には、市民の意見が広く、事業計画に反映され、充分な理解・協力の必要と決定・実行される事が必要条件であると考えます。しかし将来の土岐市像全体を考え、その中で、位置づけをする事業・都市計画の中で市民が歓迎する計画・事業ばかりではなく、市民生活にとって必要不可欠ではあるが立地候補地の住民にとっては大変迷惑な施設(ゴミ処理場等)や地域住民(地権者)が希望していないのに、用途制限が定められる都市計画決定があります。土岐市の各事業が計画され進む中、地域の皆様のご支援で選出された市議会議員として、今後の土岐市全体を考えた意見か、個々の地域住民の意見か、どちらの意見を代弁し、議員活動するのが正しいのか考えさせられる事があります。21世紀を迎え子孫にツケを残さず快適で安全な住みやすい郷土を残すため自分に何が出来

るか真剣に思い悩み努力することが大切であると思えます。今後の議員活動信条として「中日新聞記者(清水孝幸)の目」より抜粋引用の一節をご紹介します。以下に耳を傾けるのは当然だが、安易に迎合する必要はない。しっかりと議論して自ら信じる「正義」を見極めそれが世論と反するならば、世論を説得して変える程の覚悟と努力が必要である。最後になりましたが、現在の土岐市の抱えている色々な問題に対し行政に市民の声を代弁する私達議員にとこへでも出かれますので、多くの御意見を聞かせていただく様お願い致します。

「泉の自治だより」の紙面をお借りして私の市議会議員としての基本的考えを述べさせていただきます機会を与えていただきした関係各位へ感謝申し上げます。

思いと考えを綴ります。「夢はみるもの希望は叶えるもの」と私の尊敬する方の言葉をいつも頭の片すみに置きながら、この一年間以前の私には、とてもこんなにも多くの方々の出会いや、お話を伺う事などなかったと思われる中で、心の中に入っで離れないいくつもの事柄の中の一つに、少子高齢化の中近い将来に自分達の生活、子供達の将来はどうなるだろうか、という話、そしてもう一つ多いのは、土岐市駅周辺が、もう少し何とかならないかの声。私はこの二つは全く別々の問題ではないと思っておりますが、話の終わりはいつも誰かが何とかしてくれるのではないかと、行政が何かしてくれる以外我々にはどうしようもない、なにもすることが出来ないから仕方がないというようないはかない気持、あきらめ気持をいだいてうやむやに話が終わってしまっています。

しかし、よく考えてみると市広報や関係印刷物、この自治だよりの発言などには、土岐市政は市民の皆様の貴重な税金で成り立っています。各関係団体と住民の参加協力が不可欠と必ずうたがってあります。そこで先程の土岐市駅周辺の現状をとってみてもうれうだけではどうにもなりません。行政や駅周辺住民だけではなく、市内外から選ん

でこの地に移り住んだ人や21世紀に生き続ける若者の、小中高校生の意見などしなやかな感性の中にめざすものが光っているような気がしてなりません。自治だより53号で青年の主張大会にあるように、すばらしい考えをきちんと持ち、この町を、土岐市を愛している子供達をもまじえてこの町の未来をどうするか、どう変えてゆこうか考えをまとめて行けたらと思うのですが、閉塞感をいだいている大人だけの話し合っている中からは、今迄昭和63年に駅前地区再開発事業がはじまってその後の時間、いやそれ以前からあったと思われる都市計画の時間を考えれば、少々まわり道になっても大切な事ではないでしょうか。

私は前々から駅周辺一帯が高齢者も障害者も商店者も、一般すべての人が一体となつて楽しく生き生きと生活できる住空間、たとえば、宅老所や託児所保育園や学童保育、お医者さんや歯医者さん、銀行や郵便局、生活にうおおいを持たせてくれる商店街等々伊野川と土岐川のまき込み楽しく住み良い町づくりが出来ないかと夢物語のように思っていました。夢を希望もいたします。夢を希望に変えみんな大きな声をあげて実現させたいものです。

夢を希望に 変えて実現を

建設水道常任委員 研究学園都市対策特別委員 布施 素子

昨年九月泉町民の皆様へ大きなご支援いただき、早いもので市議会議員となつて二年二月、誠にありがとうございます。自治だより50号にと、原稿用紙を受けた時の緊張感を思い出しながら

市議会議員か 町議会議員か

土岐市監査委員 企画総務常任委員 首脳機能移転対策特別委員 泉議員団長 久米 要次

現在泉町内での大規模な民間開発は内田橋住宅十トヨタ宅地開発(大富区)、アクアガーデン宅地開発(久尻区)等、公共事業では、土岐川災害復旧緊急事業、東海環状自動車道、市道泉北部線等、各

- 泉町連合区のおゆみ
- 1 泉町連合区要望書に対する回答書受領
  - 2 土岐市消防団長閣下自治連協理事
  - 3 交通安全総点検実行委員会
  - 4 セミナー「バー」美濃評議員会
  - 5 花火大会反省会
  - 6 交通安全対策委員会 敬老会
  - 7 第6回連合区長会
  - 8 泉中学校体育大会
  - 9 ふるさと祭反省会
  - 10 小学校運動会
  - 11 国際ボランティア推進協議会
  - 12 健康を守る市民の集い実行委員会
  - 13 共同募金打合せ会 社協理事会
  - 14 自主運行バス発車式
  - 15 交通安全総点検 幼稚園運動会
  - 16 陶史の移まつり
  - 17 東濃西部地域広域市町圏計画審議会
  - 18 町民運動会
  - 19 女性消防団員フォーラム
  - 20 自治連協理事会
  - 21 生活安全推進協議会
  - 22 休日急病診療所運営委員会
  - 23 車道整備六市自治連協総会
  - 24 福祉の日
  - 25 健康を守る市民の集い
  - 26 第7回連合区長会
  - 27 現代陶彫展開会式
  - 28 戦没者慰霊祭
  - 29 助成団体代表者会議
  - 30 11月 市民健康ウォーキング発表式
  - 31 廃棄物減量20周年記念行事
  - 1 6 自治連協理事会
  - 2 8 明るい選挙指導者研修会
  - 3 10 高齢者交通安全死亡事故抑止緊急対策会議
  - 4 12 連合区長研修旅行
  - 5 14 連合区長研修大会
  - 6 16 連合区長研修大会
  - 7 18 公民館まつり
  - 8 20 健康を守る市民の集い反省会
  - 9 22 泉市議団との協議会

カネヤマハウジング

〒509-5135 岐阜県土岐市泉森下町2-31  
TEL 0572-54-3195(代)  
FAX 0572-54-8451

営業時間  
平日 8:00 ~ 18:30  
土曜日 8:00 ~ 18:00  
日曜日 9:00 ~ 17:00  
祭日 8:00 ~ 17:00  
(年中無休)

カネヤマハウジング

営業時間  
AM 9:30 ~  
PM 9:00

土岐市泉神栄町2丁目62  
TEL 55-1844

よって長大! みて長大! かつて長大!

カネヤマハウジング

